

Japanese Graded Readers

レベル別 日本語多読 ライブラリー



にほんごよむよむ文庫

レベル 1 vol.1 5

笑い話^{わら} ばなし



わら ばなし
笑い話

^{ほし}
「星をとる」

^{はや}
「だれが早い？」

^{かね}
「お金がありません」

^{みせ たいへん}
「店は大変？」

^{げんてん せいすいしょう}
(原典『醒酔笑』)

^{げんてん たい み そ す}
(原典『鯛の味噌津』)

^{げんてん} ^{ものがたり}
(原典『きのふはけふの物語』)

^{げんてん} ^{ものがたり}
(原典『きのふはけふの物語』)

簡約 (かんやく) : 山崎 俱子 (やまざき ともこ)

挿絵 (さしえ) : 霧生 さなえ (きりう さなえ)

監修 (かんしゅう) : NPO法人日本語多読研究会 (にほんご たどく けんきゅうかい)

<監修者紹介>

NPO法人 日本語多読研究会 (にほんご たどく けんきゅうかい)

当研究会は、学習者のための「読みもの」を作ることをも目的に、日本語教師が集まって、2002年1月に発足しました。2006年9月にNPO法人になりました。「レベル別読みもの」を開発したり、それらを使った「多読」授業の実践・研究をしたりしています。http://www.nihongo-yomu.jp

レベル別日本語多読ライブラリー (にほんご よむよむ文庫)

[レベル1] vol.1

笑い話

2006年10月10日 初版 第1刷 発行
2009年10月26日 初版 第3刷 発行

簡約：山崎 俱子（日本語多読研究会会員・日本語教師）

作画：霧生 さなえ

監修：NPO法人 日本語多読研究会

ナレーション：山中 一徳

録音・編集：スタジオ グラッド

デザイン・DTP：有限会社トライアングル

発行人：天谷 修平

発行：株式会社アスク出版

〒162-8558 東京都新宿区下宮比町2-6

TEL.03-3267-6864 <http://www.ask-digital.co.jp>

印刷・製本：株式会社光邦

許可なしに転載・複製することを禁じます。

乱丁・落丁はお取り替えます。

© NPO法人 日本語多読研究会 2006

Printed in Japan ISBN978-4-87217-624-7

わら ばなし
笑い話

^{ほし}
「星をとる」

^{はや}
「だれが早い？」

^{かね}
「お金がありません」

^{みせ たいへん}
「店は大変？」

^{げんてん せいすいしょう}
(原典『醒酔笑』)

^{げんてん たい み そ す}
(原典『鯛の味噌津』)

^{げんてん} ^{ものがたり}
(原典『きのふはけふの物語』)

^{げんてん} ^{ものがたり}
(原典『きのふはけふの物語』)

簡約 (かんやく) : 山崎 俱子 (やまざき ともこ)

挿絵 (さしえ) : 霧生 さなえ (きりう さなえ)

監修 (かんしゅう) : NPO法人日本語多読研究会 (にほんご たどく けんきゅうかい)

星をとる^{ほし}

夜^{よる}です。

庭^{にわ}に子^こどもがいます。

空^{そら}に星^{ほし}があります。

たくさんあります。

とてもきれいです。

子^こどもは空^{そら}を^み見ます。

「うわあ、きれいな星^{ほし}！」



こどもは星がほしいです。

星がとりたいです。

棒でとります。

長い棒です。

「星がほしい！」

星がとりたい！」



お父^{とう}さんが来^きます。

そして、言^いいます。

「だめだめ。その棒^{ぼう}は長^{なが}くない。短^{みじか}いよ。

星^{ほし}は遠^{とほ}いよ。だから、だめだめ。そこはだめ。

屋根^{やね}の上^{うへ}がいいよ」





だれが早い？
はや

「うぐいす」は、春の鳥です。
はる とり

春に鳴きます。
はる な

うぐいすの声は、「ホーホケキヨ」です。
こゑ ほーほけきよ

とてもきれいな声です。
こゑ

みんな、早くうぐいすの声が聞きたいです。
はや こゑ き

今年も春が来ました。
ことし はる き





一郎の家いちろう いえに、

二郎、三郎、四郎、五郎が来きました。

五人は一緒いっしょにお酒さけを飲のみます。

一郎いちろうが言いいました。

「私は今朝けさ、うぐいすの声こえを聞ききましたよ。

今年ことしは、私わたしが一番早いちばんい！」

二郎じろうが言いいました。

「いいえ。それは早はやくないですよ。私わたしは

昨日きのうの朝あさ、聞ききましたよ。私わたしが一番早いちばんい！」



つぎ さいごう い
次に、三郎が言いました。

「いいえ。それは早くないですよ。私はわたし

いっしゅうかんまえ き わたし いちばんはや
一週間前に聞きましたよ。私が一番早い！」

しろう
四郎が言いました。

はや わたし いっ げつまえ
「それは早くない。私は一か月前に

き わたし いちばんはや
聞きました。私が一番早い！」

ごろう い
五郎が言いました。

はや はや おそ おそ
「みんな、早くない、早くない。遅い、遅い。

わたし きよねん はる き
私は、去年の春に聞きましたよ」



お金かねがありません

これは、秋夫あきおと春子はるこの

うちです。

うちの近くちかに川かわがあります。

そこに舟ふねがあります。

秋夫あきおの舟ふねです。

まいにち
毎日、たくさんの人^{ひと}が

あきお ふね の
秋夫の舟に乘ります。

そして、

あきお かね
秋夫はお金をもらいます。

あきお しごと
これが秋夫の仕事です。



はるこ
春子はうちの仕事をします。

まいにち
毎日、掃除をします。洗濯をします。

はん
ご飯を作ります。

あきお
秋夫と春子は、二十年前に結婚しました。

はるこ
春子は二十年前、きれいでした。

いま
でも、今は若くないです。

もう、きれいじゃありません。

あきお
秋夫はもう、

はるこ
春子が好きじゃありません。





ある日、秋夫は春子に言いました。

「あなたは、もう、きれいじゃありません。

私はもう、あなたが好きじゃありません」

春子は言いました。

「わかりました。

では、私はこのうちを出ます。

私の母はまだ元気で。

私は母のうちへ行きます」

春子^{はるこ}は、きれいな着物^{きもの}を着^きました。

化粧^{けしょう}もしました。

今^{いま}は、とてもきれいです。

春子^{はるこ}は言^いいました。

「じゃあ、さようなら」

秋夫^{あきお}は春子^{はるこ}を見^みました。

そして、小^こさい声^{こえ}で言^いいました。

「春子^{はるこ}はとてもきれいだー」

でも、春子^{はるこ}は、今^{いま}からお母^{かあ}さんの

う^いちへ行^いきます。

